

【福祉目標】

平木地区を みんなでつなごう 福祉のまちに

理事・評議員アンケートにより、地域や分区活動への思いをうかがいました

平木分区のいいところ

- ・ アットホームな雰囲気、温かさが感じられる地域活動
- ・ わんぱくランドに子育てサロンの活動に来られているのが、地域の方に子どもたちはお世話になり見守れているのだと親として安心感とありがたい気持ちになりました。
- ・ 平木の子どもたちとの深いつながりがいいと思う。
- ・ 高齢者の方が子どもたちの成長をよく見てくださっている。
- ・ 今、いきいき体操の中で初めに少し歌やお話をします。その中で、いきいきサロンで習った故郷を手話で歌います。知らない高齢者にも好評で、いきいきサロンとのつながりを感じます。
- ・ 皆様の真摯な活動に感謝いたします。
- ・ 役員の皆様の活躍 感心しています。

今後充実してほしい活動

- ・ 多世代交流（高齢者のつどい、子育てサロンと世代を分けてしまう活動だけでなく、交わる活動ができればと思います）
- ・ 今年初めて参加しましたが、どの活動も皆さん協力的で充実していると思いました。
- ・ シルバー時代の健康増進が常に話題になります。スポーツジムほどに大がかりではなく、簡単に体操等ができるシステム（できる場所）があれば参加できるのではないのでしょうか。特に男性の参加のためと思います。

アンケート結果をもとに課題の整理をし、活動の柱と重点項目を考えました

平木分区の課題

人材の確保

- ・ 活動者が固定している
- ・ 人材が足りない

住民同士のつながりづくり

いろいろな人が交わる場所

活動の柱と重点項目

多世代交流の場づくり

人材の確保

地区VC

活動内容の充実

いきいきサロン・昼食懇親会
子育てサロン など

よくないと思うところ

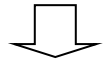
- ・ 活動される方が限られている。
- ・ 子育て世代の参加が少ない
- ・ 多世代交流がない
- ・ いろいろな人（子ども、子育て世代、障害者、高齢者、介護している方、子育てが終わった方）が交わる場所、ふらっと立ち寄れる場所がない
- ・ マンションが多いせいか、人と人とのつながりが限られた人たちになる。
- ・ 単身者のゴミの出し方

【具体的な活動方針】

いきいきサロン

《活動状況》

- ・月1回（第3水曜日）午後1時30分～平木市民館で開催
- ・地区VCコーディネーターが企画・実施



○内容の充実

- *折り紙、手芸や詩吟、カラオケなど参加する方のリクエストも取り入れる
- *参加する方にも役割があるサロンへの転換
- *「場所が遠くて参加したくてもできない」という声を受けて、年1～2回、開催場所を変更して開催する

○人材の確保

- *四役やボランティアで企画・実施をする
- *「宮っ子」やチラシで活動ボランティアを募集する

多世代が交流できる場づくり

【みんなの作品展】

子どもから高齢者まで、いろいろな方が交わる機会として、作品展を開催。

【小学校・保育所との交流】

- ・子どもと高齢者がふれあう場として、平木小学校、むつみ保育所の子どもたちとの交流会を実施。

子育て支援活動

- *仲間づくりの場・地域ぐるみでの子育て支援として、子育てサロン「わんぱくランド」を実施
- *地域の子どもと高齢者との交流を目的に、保育所との交流を実施

地区VCの充実

《活動状況》

- ・毎週火曜日 午前9時～12時 開設。
- ・コーディネーター 8名 登録ボランティア 33名
- ・電話訪問、生活支援・施設支援、登録ボランティア研修
- ・地区VCパンフレット配布



○人材の確保

- *ボランティア募集のチラシを配布する
- *登録ボランティアとの意見交換の場をもつ

○活動推進

- *身近な相談窓口として機能充実に努める
- *分区活動・地域包括支援センターなど地域の資源と連携して活動を進める

これらの活動も引き続き推進します

【高齢者昼食懇親会】

- ・仲間づくりや交流を図る。
- ・対象者の増加にあわせて、町ごとの交流を深めるために、2日間に分けて開催。

【ひとり暮らし高齢者のつどい】

- ・年1回開催。
- ・中身の充実に努める。

【新年ふれあい交流会】

- ・年1回 1月に開催。
- ・高齢者昼食懇親会と同様に、2日間に分けて開催。

【シルバーのつどい】

- ・実行委員会を組織して企画。

【ひらき・まつりへの参画】

【研修活動】

- ・管外研修を年1回程度実施。

協議の場づくり

平木地域の子どもから高齢者、障害のある人が暮らしやすい地域にするために、各団体の活動を相互に情報共有し、地域全体での課題やその方策に向けた検討できる、協議の場づくりを進めます。

財源の確保

平木地域の活動をより一層充実するための財源の確保に努めます。

【会員会費制度】

- ・自治会などに協力を依頼し、財源の確保に努める。
- ・財源確保とともに、地域住民へ分区活動の周知を図るためにチラシによるPR活動を行う。

【各種募金活動】

- ・各自治会のご協力のもと、日本赤十字社員増強運動・社資募集（5月）、共同募金（10月）、歳末たすけあい募金（12月）の各募金ボランティア活動を推進する。